

令和2年第1回水道事業運営委員会 議事録

日 時：令和2年6月10日（水）午後1時55分～

場 所：石狩市役所 5階 第1委員会室

委員出席者：7名

小笠原会長・山田副会長・田守委員・松原委員・本吉委員・赤間委員・大黒谷委員

事務局出席者：9名

高野部長・新関課長・佐々木課長・勝又参事・川村主査・有坂主査・菅原主査

傍 聴 者：0名

議 事：（1）議題

①余湖副会長の退任に伴う新たな副会長の選任について

（2）報告

①パブリックコメントの実施について【水道料金表の一部見直しについて】

②平成30年度及び令和元年度における「石狩市浄配水場運転管理等業務委託（第三者委託）」の評価について

配 布 資 料：別添のとおり

=====

【13時55分 開会】

■ 議題① 余湖副会長の退任に伴う新たな副会長の選任について

小笠原会長 3月まで副会長を務めておられた余湖先生が、都合により退任された。

新たな副会長を皆さんに選考していただきたい。

事務局で何か腹案はあるか。

新関課長 （石狩市水道事業運営委員会条例の説明）

会長の推薦で委員の皆さまに承認していただく方法にて決定というのは。

≪「異議なし。」との声≫

小笠原会長 以前より長い間委員を務めておられる山田委員を推薦したいと思う。

≪「異議なし。」との声≫

■ 報告① パブリックコメントの実施について【水道料金表の一部改正について】

（新関課長より説明）

山田副会長 コロナの影響により企業活動にも変化があると思うが、このようなリスクを踏まえた上でも説明にあったように8年間にわたって黒字を維持できるという試算なのか。

その試算と収支の予想の推移、現在、口径別に何人、何世帯がどれくらい使っているというような基礎データを見せていただきたい。

黒字に見えているのは、高料金対策が含まれることと、企業債を引き続き借りているからだと思うのでそれが見えるデータだと良い。

- 小笠原会長 今すぐ用意はできないと思われるので、次回までに用意をお願いしたい。
市民サービスということであれば20m³と21m³で切る理由というのがあるのか。
基本料金を8m³までにし、全部一律にするという考えもある。
家庭用ではなくて大口径があるが、これは口径によって基本料金が違ってくるが、それについて将来考えるのかどうかも含めて教えていただきたい。
コロナの影響により、家庭用の水道使用量が若干増える傾向にある一方で営業用は少し下降気味だときいている。
そのようなことをある程度加味してもこの料金体系の改定は大丈夫と言えるかどうか、その見解も教えていただきたい。
こちら今すぐ用意はできないと思われるので、次回までに用意をお願いしたい。
- 山田副会長 口径13mmは1m³198円で口径20mmは1m³240円と値段が違うが、当別町や札幌市を見ると家事用は、口径関係なく単価が同じというようにシンプルにされている。料金体系の変更に際し、あえて現行の体系を維持するには、理由や思想があつてのことだと思う。教えていただきたい。
- 小笠原会長 どれだけの長期スパンで見ているのか、その将来展望も含めて今の料金改定の位置づけを教えていただきたい。
- 佐々木課長 今年を経営戦略の見直しの年であり、10年間を見通した形の収支計画を立て、その中でこの料金に改定した場合のシミュレーションをしていくと思われるので、10年ぐらいのスパンですが、その資料をお見せするというところでよろしいか。
- 小笠原会長 10年で切るわけではなく、将来こうありたいという哲学的なものをお聞かせいただきたい。
- 佐々木課長 近年物価も人件費も高騰しているので読めない部分が多いが、資料を作りたいと思う。
- 小笠原会長 石狩西部の受水費をマキシマムに見たとしても、大丈夫と言い切れるのか、不安であれば今改定する必要はないのでは。
次回の委員会以降に諮問されるので、諮問の背景を示して、その位置づけを明確にしていただければ議論しやすい。

■報告② 平成30年度及び令和元年度における「石狩市浄配水場運転管理等業務委託」
(第三者委託)の評価について(有坂主査より説明)

- 山田副会長 例えば、「AAAを3回取ると次の入札のときにプラス点が得られる」などの御褒美のようなものはあるか。
- 佐々木課長 そのようなものはない。
- 山田副会長 更新年次の選定にこの評価が役立てられると良いと思う。
7ページ、評価項目の業務改善の③、業務改善提案が6年間で、いつも7点なのは何故か。
- 有坂主査 この業務改善提案は、民間事業者、受託者の最新の知見や手法を引き出すという狙いを目的にしている。例えば、ここを修繕、改修などをしてほしいという要望を、さらにその改善の手法や、リスク管理の方策等、踏み込んだところまでの提案であれば

10点を付けるというところだが、中々そこまで到達しおらず7点が続いている。

田守委員 受託者2者の名前が載っているが、これは市内業者か。

佐々木課長 両方とも市内業者ではない。

田守委員 このような業務が可能な業者は市内にあるか。

佐々木課長 市内にはないと思う。

田守委員 登録業者名簿からこの仕事を探して手を挙げてくる業者がいると思うが、ほかにはいるか。

佐々木課長 全国的に展開されている第三者委託を受けている会社はたくさんある。

小笠原会長 何人で評価し、評価にはどのくらいの時間を要するのか。

佐々木課長 月間業務評価に関して言えば、担当、担当主査、私の計3名で評価している。課長が加わっての調査は1時間ぐらいで、その後、主査と担当で1時間ほど。

小笠原会長 一人一人点数を入れるのではなくて議論しながら決めていくという手法か。

有坂主査 あらかじめ要領で決めた項目について、この三名が監督員としてそれぞれ優・良・可・不可という形でつけ、それぞれ左上に記載されている5・4・3・0点という評価の点数を当てはめ、合計を100点満点に換算している。

山田副会長 AAA・AA・A・Bの区分であると、まるでBでも構わないように見えないか。投資の格付けのようにされたと思うが、誤解されるのではないか。

小笠原会長 合格か不合格が良いと思う。

佐々木課長 今の契約が続いているので、評価を途中で変えると平等性や継続性を欠くことになるため、次年度の契約では違った評価方法も考える。

小笠原会長 B評価がつくことはまずないと思うが、ついたとしたら契約違反になるのか。

佐々木課長 60点未満となると要求水準を満たさない恐れがあり、結果的に契約解除に繋がる可能性がある。

今後このように細かい部分も会長がおっしゃるように合否で良いと思うので検討事項だと考える。

山田副会長 評価するみなさんの業務を増やしてもいけないので、なるべくシンプルだが経年で追えるような方法にすると良いと思う。

【15時00分 終了】

令和2年7月20日議事録確定

石狩市水道事業運営委員会事務局

※ この度の運営委員会に参加することができなかった山本委員より、ご質問をいただいております。会議資料に添付していたところですが、今回の本委員会内において委員の皆さまよりいただいたご質問と併せて、次回開催の本委員会にて回答、協議させていただきたく思います。

質問1 水道料金表の一部見直しについて、今回の見直しにより一部の利用者にとっては値下げとなり、水道料金収入としてはどれくらい減になることが予想されるでしょうか（金額として、あるいは料金収入に対する割合として）

質問2 また、その減収は今後の水道運営に対して悪影響はないのでしょうか（十分な維持管理費が確保できるのでしょうか）